



# 碧南ロータリークラブ週報

第2636回例会 平成25年4月6日(土)

- 会長 黒田 昌司
- 幹事 木村 徳雄
- 会場監督(SAA) 新美 雅浩

2012-2013 年度 国際ロータリーのテーマ

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール  
 ■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
 E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■会報委員 菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴



## ●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## 会 長 挨 拶

爆弾低気圧がきている中、大勢の方がご参加頂き、心よりお礼申し上げます。半分ぐらい当日欠席が出るのではと予測しておりましたが、欠席者は1名だけで嵐をものともせずにご出席して頂きまして、ありがとうございます。

今日は春の家族会という事で、「ユタと不思議な仲間たち」という劇団四季の劇を見に行きます。この不思議な仲間というのが座敷童の事だと思っておりますが、座敷童がいる家には繁栄をもたらすと言われております。日本には八百万の神（やおよろずのかみ）がいると言われております。この神や妖怪にはどうしたらいいのかを考えてみたいと思います。

菅原道真の天神様がございます。神や妖怪になるには、その人の能力が非常に優れている、というのが一つの原因になります。

二つ目は付喪神という神様がおりますが、本来ですと「九十九」という漢字で、長い間、長い経験という意味の「九十九」というところから出てきたと言われております。昔からある古い木や小物など、長い年月経った物は九十九神になると言われております。物を大切にしよう、というところから神に昇格してきたのではないかと思います。

最近では、安いからちょっと使って捨てればよいという消費生活があるわけですが、本当にそれが地球のためにはいいのかなと思います。多少高くても長く使うという事が、これからの世の中で大切になっていくのではと思います。

本日は福の神の劇を見に行くので、ぜひそれぞれのお家に連れて帰って頂きたいと思います。



黒田昌司会長

春の家族会 劇団四季「ユタと不思議な仲間たち」

## 例会会場



### 次回例会案内

平成25年4月24日（水）

クラブフォーラム 地区協議会の報告